

1.園の教育・保育目標

素直な子ども	美しいものを美しいと感じたり、ひたむきに頑張る人に感動したり勇気づけられたりする心を育てる。
たくましい子ども	身体の健康はもとより、何事にもくじけないうつよい心を育てる。
規則を守る子ども	社会生活の基礎となる集団生活での約束事を守ろうとする心を育てる。
命を大切に子ども	命が何よりも最も大切であることを理解し、自分の命と同様に、他の人の命も大切にできる心を育てる。
希望に満ちた子ども	将来への夢と目標を持ち、そのために努力する喜びや達成感を味わうことのできる心を育てる。

2. 本年度の重点目標

①子ども主体の保育の提供
②保育環境への配慮
③保育教諭の資質向上
④地域における子育て支援の実践と情報提供
⑤小学校との連携

(7月27名・1月26名集計)

評価項目	評価						改善策
	7月			1月			
	はい	いいえ	どちらとも いえない	はい	いいえ	どちらとも いえない	
1. 教育・保育の計画							個々だけでなく、クラスや学年、園全体でPDCAを用いた話し合いの機会を増やし、更に保育の質を高めていく。
・園の基本理念・基本方針・目標・仏教保育三綱領を理解している。	27			26			
・幼保連携型認定こども園・教育・保育要領に基づき、理念・目標を踏まえた全体的な計画に沿って長期・短期の指導計画を作成している。	25	1	1	26			
・PDCA(計画・実践・評価・改善)サイクルを用いて質の向上・改善に努めている	22		5	23		3	
2. 保育内容							家庭での呼び方、愛称で呼ぶなど親しみを持って呼ぶようにしている。呼び捨てにならないようにこれからも気を付けていく。 怪我等に繋がるような場面では叱咤に制止、禁止の言葉で止めることがあるが、ゆとりのある対応を心掛ける。
・子どもの名前は呼び捨てにせず「ちゃん」「くん」で呼んでいる。	22	1	4	19		7	
・子どもが理解しやすい温かな言葉遣いで穏やかに話すように心掛けている。	23		4	20		6	
・子どもの目線に立ち、思いを大切にしながら対応している。	26		1	25		1	
・乳幼児の発達や生活の連続性に考慮して生活リズムを整え、見通しを持った保育に努めている。	24		3	25		1	
・「早く」「だめ」等、制止や禁止の言葉を不用意に使わないよう努めている。	13		14	5	2	19	
・子どもが意欲的に取り組める環境を整える工夫や、言葉を掛けている。	24		3	26			
3. 保健管理							日々の保育の中で安全に過ごせるように各場面、各活動での安全指導を行っていく。 保健だよりの内容を充実したものにしている。
・「健康・安全や発達の確保」を図るための(学校保健計画・学校安全計画)を策定し、計画に基づいて生活安全指導・避難訓練・交通安全指導を実践している。	27			25		1	
・乳幼児の病気やケガ・疾病予防の情報提供を行っている。	25		2	25		1	
・日常の健康観察・身体測定・健康診断を実践している。	27			26			
4. 安全管理							訓練での気付きや、反省を園内研修で取り上げるなどして、危機管理マニュアルの見直しや、共通理解を深め、子ども達が安全で、安心な生活が送れるよう努めている。
・安全点検(園内・保育室・ヒヤリハット・遊具)を実践し会議などを通して結果や改善点を共有している。	26		1	26			
・感染予防・避難訓練・自然災害・事故予防に対応出来る危機管理マニュアルを作成してあり、訓練や園内研修の中で活用している。	24		3	25		1	
・緊急連絡カードの作成・一斉配信メールの登録・関係機関との連携体制を表示するなど、緊急事態発生時への取り組みを行っている。	26		1	26			

評価項目	評価						改善策
	7月			1月			
	はい	いいえ	どちらとも いえない	はい	いいえ	どちらとも いえない	
5. 特別支援教育							支援が必要な子どもについて、職員全員が理解し、対応が出来るように、会議や園内研修などで話し合うなどして共有、連携し支援していく。
・特別な支援が必要な幼児のための施設や関係機関と連携を図っている。	25		2	25		1	
・各種会議の中で問題意識の共有、連携確認を行っている。	23	1	3	24		2	
6. 組織運営							一人ひとりが組織の一員であることを、より認識し、協力体制を整えていく。
・時間厳守し、自分の健康管理にも気を配り、職務に積極的に取り組むことが出来る。	26		1	26			
・職務分担表を配布して、各係りの担当、職務の役割分担を明化し、職員間における「報告・連絡 相談・確認」の連絡・連携体制が整っている。	24		3	25	1		
・協力体制の重要性を認識し、上司の指示・指導・同僚の助言を素直に聞き入れ、決定事項・規則 手続等を守ることが出来る。	26		1	26			
・個人情報(パソコン・USBを含む)や文章を適切に管理し、情報の保護に努めている。	26		1	26			
7. 研修(資質向上への取り組み)							コロナ禍で研修会が少なくなっていたが通常通りになり、積極的に参加し資質向上につとめていく。
・園内研修や自己評価を定期的に行い、資質向上に努めている。	25		2	25		1	
・保育研究に継続的に取り組み、研修や講習会の内容は園内研修を通して還元している。	23		4	21		5	
8. 情報提供							ホームページの活用を少しずつ増やしているが、日常の子ども達の様子や保育を周知する為の工夫をしていく。
・園に関する様々な情報を園便り・保育参観・行事を通して伝えている。	25		2	24		2	
・ホームページを活用し広く周知するための工夫をしている。	19	1	7	16		10	
9. 子育て支援(地域・社会との連携)							バス利用者や、時間外保育利用者とも直接子ども達の様子を伝え合い連携していけるような機会を設けるようにする。
・様々な機会を通して、子どもの様子や出来事を伝え、保護者との相互理解を図っている。	23		4	22		4	
・認定子ども園として、子育て支援が必須であることを理解している。	27			26			
10. 環境整備							整理整頓を一人ひとりが心掛け、子ども達に優しい清潔感のある環境維持に努めていく。
・健康・安全かつ快適に生活が出来るよう、清潔感のある環境の維持に努めている。また、日常的に 点検・改善がなされている。	27			25		1	
・絵本・教材・用具・用品を適切に活用し整理、管理をしている。	24		3	25		1	
・人的環境である保育教諭として、爪を短く切る。髪が顔にかからないようにきちんと髪を結ぶなど、 清潔感のある身だしなみを心掛けている。	27			26			